

6-2 2 / 5時の指導計画

(1) 目 標

現在も読まれている昔話とその原典である古典の現代語訳を読み比べ、その内容の違いや古文の特徴を紹介するために、必要な情報を読み取ることができる。

(2) 展 開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 「竹取物語」の冒頭を暗唱する。 2 本時の目標を確認する。	学習計画表	○「竹取物語」の冒頭を覚えているか、確認する。	
「竹取物語」を読み、内容の違いや古文の特徴を読み取ろう				
展 開	3 「竹取物語」の現代語訳を読み、内容を理解する。 [手順] 1) 現代語訳を黙読して、大体的内容をつかむ。 2) 古文を黙読し、現代では使われない言葉に印を付ける。 3) 教師が音読する一区切りの古文に応じて、現代語訳の一区切りの部分を音読する。 4) 教師が音読する一区切りの現代語訳に応じて、古文の一区切りの部分を音読する。 5) 語注や解説、現代語訳を読み、竹取物語の内容について理解を深める。 4 「竹取物語」と自分が知っている昔話「かぐやひめ」の内容とを比べて、内容の違いについて発表する。		○文末の言葉の違い、現代では使われない言葉に印を付けながら読ませる。 ○古文と現代語訳を対照して、古文でも大体的意味がつかめるようにする。 ○語注や解説を手がかりに、文章の内容を捉えさせる。 ○昔の人は、なぜこのような物語を考えたのか、その当時の人々の暮らしぶりから想像できるものから見方や考え方について、現代の自分たちと比べて考えてみるよう助言する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【読①】現在も読まれている昔話とその原典である古典の現代語訳を読み比べ、その内容の違いや古文の特徴を紹介するために、必要な情報を読み取っている。 【観察、学習計画表】 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 文中の語句の意味が確認できない生徒には、確認できない語句に印を付け、現代語訳と照らし合わせて考えさせる。 </div>
ま と め	5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	学習計画表	○本時で読み取った「竹取物語」と自分が知っている昔話「かぐやひめ」の内容とを比べて感じたことを「学んだこと・感想」の欄に書くよう指示する。 ○次時は、昔話とその原典である古典を読み比べ、内容の違いや古文の特徴を調べることを伝える。	